

令和3年5月14日

東大和市立小・中学校長 殿

東大和市教育委員会学校教育部参事
兼教育指導課長事務取扱 小野 隆一

熱中症事故の防止について（通知）

このことについて、別添写しのとおり、令和3年5月11日付3教指企第245号にて東京都教育庁指導部体育健康教育担当課長から通知がありました。

昨今この時期において、急激な暑さの影響により、全国的に事故が発生しております。また、東京都においては、平成19年度に公立中学校の部活動中に熱中症による死亡事故が発生しております。

つきましては、本年4月28日から全国で運用が開始されている環境省と気象庁による「熱中症警戒アラート」を活用するとともに、下記事項に十分留意して事故防止の徹底を図るよう指導をお願いします。

記

- 1 熱中症は、未然に防止できることや、児童・生徒の健康や生命に甚大な影響を与えることを、学校全体及び指導者が十分に認識した上で指導に当たること。
- 2 暑さ指数（WBGT）を参考に、児童・生徒の体調、活動内容、活動場所などを総合的に検討し、屋外での活動の妥当性を判断すること。
- 3 児童・生徒の健康管理を適切に行い、一人一人の状況に応じて必要な対策を個別に講じること。
- 4 部活動をはじめとする教育活動全般において、天候・気温、活動内容・場所等の状況により、延期又は中止等の柔軟な対応を検討すること。
- 5 活動する場合においては、環境条件を考慮して、活動量・内容・時間・場所等を変更するなど熱中症予防対策を徹底するとともに、水分・塩分の補給や休憩を励行し、適切に対策を講じること。
また、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分補給、体温の冷却、病院への搬送等適切な処置を行うこと。
- 6 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童・生徒等及び教職員は、基本的には常時マスクを着用することが望ましいと考えられる。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や児童・生徒等の間に十分な距離を保つなどの配慮の上、マスクを外すよう対応すること。
なお、体育の授業及び運動部活動におけるマスクの着用の必要はないが、感染リスクを避けるためには、児童・生徒の間隔を十分に確保するなどの取扱いをすること（「東大和市立小・中学校版感染症予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）」（令和3年4月5日改訂）を参照すること）。
- 7 政府においては、令和2年度まで実施していた「熱中症予防月間（原則毎年7月）」に代わり、令和3年度より「熱中症予防キャンペーン（4月1日から9月30日）」を新たに開始していること、また、環境省では、熱中症予防情報サイトにおいて暑さ指数（WBGT）を情報提供していることについて、教職員・児童・生徒への周知を徹底し、熱中症予防の取組を推進すること。
- 8 登下校及び休み時間等、校舎の外に出る際は、帽子を被るなど、熱中症対策を講じること。

担当 東大和市教育委員会 指導主事 橋本 健

電話 042-563-2111 内線1533